

競技注意事項

- 大会は、2023年度日本陸上競技連盟規則により行う。
また、新型コロナウイルス感染症予防の観点により、日本陸連の陸上競技活動再開のガイダンス及び福岡陸協の競技会開催にあたっての新型コロナウイルス感染症予防ガイドラインを基に競技会を運営する。

2. 招集について

	招集開始時間	招集完了時間
トラック	競技開始 40分前	競技開始 20分前
フィールド	競技開始 60分前	競技開始 40分前

- 招集場所は、本競技場正面玄関横に設ける。
- リレーのオーダー用紙は各ラウンド毎に招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。

3. バーの上げ方について

一般男子走高跳	練習 1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m05	2m10	2m14	以降3cm～
一般女子走高跳	練習 1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	以降3cm～		
一般男子棒高跳	練習 3m60・4m00・4m50	3m60	3m80	4m00	4m20	4m40	4m50	以降10cm～	
一般女子棒高跳	練習 2m40・3m00・3m50	2m40	2m60	2m80	3m00	3m20	3m40	以降10cm～	
十種走高跳	練習 1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88	以降3cm～
七種走高跳	練習 1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m53	以降3cm～	
十種棒高跳	練習 2m70	2m80	2m90	3m00	3m10	3m20	3m30	3m40	以降10cm～
中学選抜男子	練習 1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	以降3cm～		
中学選抜女子	練習 1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	以降3cm～		

*気象状況により変更する。

- 混成競技控え室は設けないので、招集は各種目ごと招集所で点呼を受けること。なお、途中で棄権する場合は直ちに審判長に申し出なければならない。
- スパイクは平行ピンとする。長さは9mm以下とし、走高跳・やり投は12mm以下とする。
- 跳躍競技者・投てき競技者で滑り止めを使用する選手は各自準備すること。
- 持参のやりについては検査に合格したものは使用を認める。検査は当該競技の招集開始時刻30分前から招集開始時刻まで第4ゲート用器具庫前で行う。
- 投てき種目出場者は、事前練習も含め審判員の指示に従い、事故のないよう留意すること。
- 投てき練習場の使用は少年B男女円盤投の出場者のみとし、その他の種目はメイン競技場、サブトラックでの練習とする。
- 下記に記載した種目については制限時間を設ける。スタート後に制限時間を経過した場合は、競技を打ち切るので審判員の指示に従い速やかにレースを中止すること。
ジュニア高校男子5000m・・・18分00秒 ジュニア高校女子3000m・・・12分00秒
一般男子5000mW・・・30分00秒 一般女子5000mW・・・33分00秒
- 棄権する場合は、大会総務に棄権届を提出すること。
- 記録会種目（ジュニア部の部）のみ選手変更を認める。選手変更をする場合、変更する選手は申込時に名前を登録している選手（種目に申し込まず、名前だけの登録だけでも可）に限る。招集所で選手変更の用紙を受け取り、総務の確認を受けて、当日の最初の競技開始1時間前（1日目は8:40、2日目は8:00）までに招集所に提出すること。
- ① 各種目1位の選手権者に賞状を授与するので、成績発表後直ちに本部に集合すること。
尚、選手権者にはTシャツを贈呈する。
② 本大会の一般の部で、6位までの入賞者は九州選手権大会（8月18～20日SAGAサンライズパーク（佐賀））出場資格を得る。
本大会に申込をし、正当な理由により出場できなかった者で、九州選手権大会への出場希望者は大会終了時まで大会本部へ申し出ること。（九州選手権大会の標準記録を突破した者）
③ 九州選手権大会の要項を熟読し、参加資格を確認して申し込むこと。
④ 九州選手権大会の申込は、佐賀陸協のホームページから行うこと。
- 競技会中に発生した負傷及び疾病については、主催者において応急処置は行うが、以後の責任は負わない。
- 主催者は競技者と審判員対象の傷害保険に加入するが、補償はこの保険の範囲内とする。
- [個人情報取り扱いについて]
福岡陸協で定める個人情報に関する規定を了承し、出場するものとする。また、撮影に関する規定に従って、競技を運営する。
- その他
 - チェックシートの提出や回収は求めないが、体調チェックについては、大会に関わる全ての人が必ず実施すること。特にチーム監督や管理者は、確実に個々の選手の状況を把握し、責任をもって出場させること。
 - 競技場内各室は競技役員、本部役員以外の立ち入りは禁止とする。
 - サイド及びバックスタンドは借用していないため立ち入りができない。ただし、フィールド競技の安全管理のために立ち入る場合（監督・コーチに限る）は本部に申し出て、許可を受けてから入ること。
 - 選手の競技場所への入退場は、第1ゲート・第4ゲートからとする。トラック競技ではゴール後、速やかに第1ゲートシャッター外側へ退場をするようにし、ゴールエリアで休息等をしないこと。
 - ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することはできない。（TR6.3.2）